

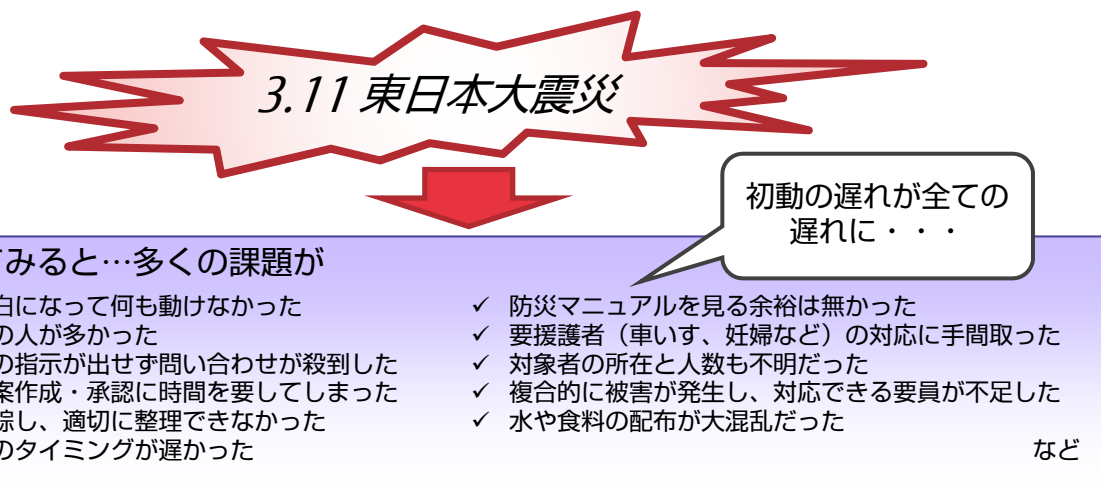
# 緊急時初動対応手順書作成

災害発生時の初動対応を迅速に行うための手順を整備

## 「緊急時初動対応手順書」の必要性

東日本大震災では、安否確認、従業員への帰宅指示、帰宅困難者への対応、備蓄品の配布などに対する適切な対応ができていないといった、企業として災害時に行うべき初動対応への課題が浮き彫りになりました。

本サービスは、災害発生時初動対応において対策本部として必要な体制ならびに役割・機能、対応手順を、実効性の観点から整理し、手順書として作成致します。



## 災害時に適切に動けるための手順書作成 (& 対策本部員の意識醸成)

## 「緊急時初動対応手順書」作成のポイント

東日本大震災の経験を踏まえて、下記を実現する「緊急時初動対応手順書（チェックリスト）」を作成します。

役割分担に応じてパラレルに動ける

指示が無くても動ける

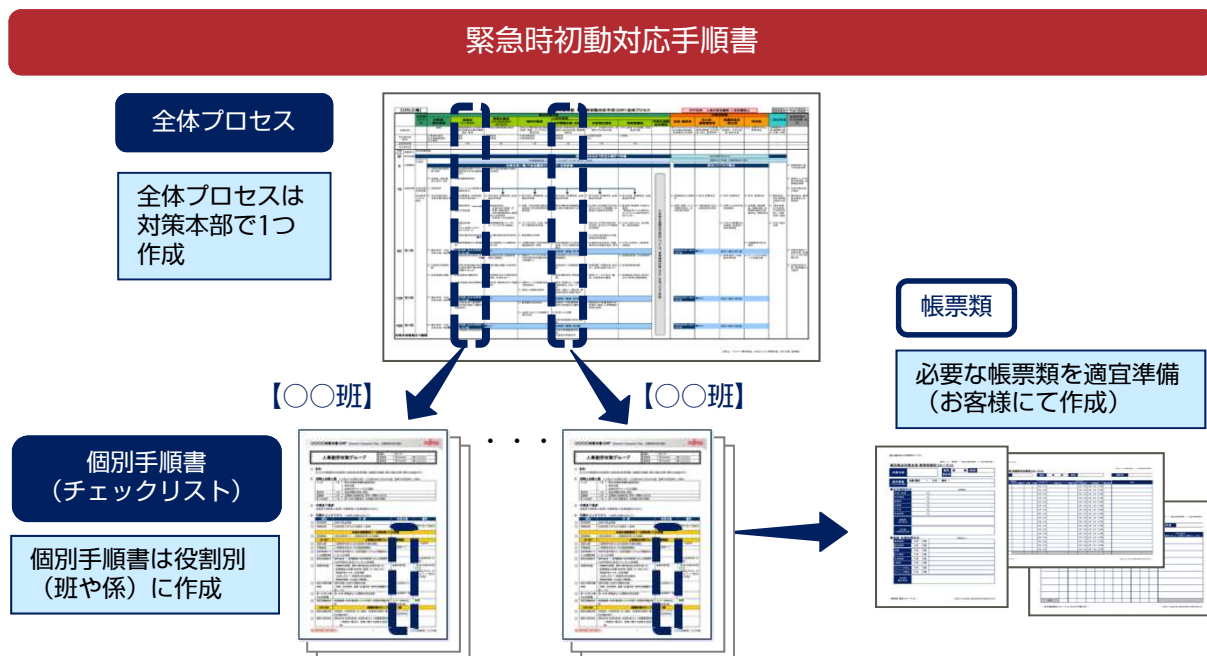
判断せずに動ける

ゴール・時間を意識して動ける

誰が担当しても動ける

富士通総研がご提案する緊急時初動対応手順書

東日本大震災において、富士通社内の20以上の部門や事業所の行動記録と、様々な企業の公開情報による行動記録を整理・分析したベストプラクティスに基づく手順書テンプレートをご活用いただけます。  
お客様の既存文書内容との整合性を踏まえ、以下の構成で作成いたします。



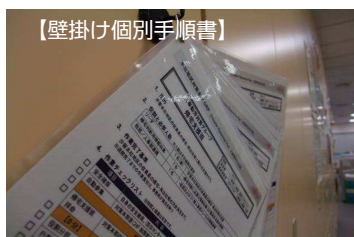
■ 全体プロセス

横軸に対策本部の全機能（役割）を並べ、縦軸に約3時間（目安）の時間軸を設けた鳥瞰図です。対策本部長が全体を管理する為に利用したり、対策本部員も他機能（他役割）の動きが分かるため協力体制を取り易くなります。

■ 個別手順書

各機能（役割）別に初動でやるべきことをリストアップしたチェックリストです。誰が役割を振られても動けるように、作業説明と必要な帳票類（手順書、フォーマット等）との関連を明文化しておきます。

■ 初動対応手順書のご利用イメージ



ご提供価格・実施期間

| メニュー                | 価格帯          | 実施期間（目安） |
|---------------------|--------------|----------|
| 緊急時初動対応手順書作成（1対策本部） | 300万円～（個別見積） | 最短2ヶ月    |

このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2016年1月

お問い合わせ先

株式会社富士通総研

コンサルティング本部 ビジネスレジリエンスグループ  
〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー  
Tel: 03-5401-8432 Email: fri-bcm-dm@cs.jp.fujitsu.com